

東久留米市立大門中学校 第1学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
国語	授業中に発言をしたり、自分の考えをノートに記述したりする生徒が少ない。	何をどうやって発言したり、メモしたりすればよいのかを授業中に実物投影機やプリントなどでよくできている生徒の取り組みを紹介していく。	○ノートやワークシートなどで主体的に学ぶ態度の観点別評価を行う時、単元でA評価の人数を学年の三分の一以上にする。
社会	社会、特に歴史が好きな生徒と苦手な生徒の差が大きい。	I C T機器（モニター・実物投影機・DVDなど）を使用することで、視覚的に分かりやすく、興味を引くような授業を行う。	●学年末にアンケートを再び実施して検証する。
数学	正負の数の計算を間違える生徒がある程度いる。	計算力の定着を、定期的に図るようにする。	○毎回の定期試験に正負の数の四則を必ず出題して、70%の正答率を目標にする。
理科	積極的な発言が多いが、発言に偏りがあったり、発問の意図を理解できていない生徒が見られる。また、道筋を立てて考えられない生徒が	論理的に考察ができるよう、ペアやグループでの話し合いを通して、考え方を身に付けさせる。	○実験レポートに考察欄を設けC評価を10%未満にする。
音楽	全生徒がワークシートの記述などに丁寧に取り組む。しかしマスクの影響もあるが、歌声はとても小さい。発言は決まった生徒しか手を挙げない。	鑑賞の感想やワークシートの記述などを互いに読み聞かせることで、自分の感じたことを発表することに抵抗なくできるようにさせる。	◎感想文の評価が80%以上、到達点のB以上になるよう指導する。C評価の生徒には、どのように改善すればB評価になるかをアドバイスする。
美術	見る力、感じる力、それを表現する力を更に伸ばす必要がある。	デッサンを通して見る目を養わせ、平面構成を通して調和を学ばせ、コラージュ画で素材を使う事を理解させる。	●作品を提出させる。その評価が上がる生徒を10%以上上げる。
保健体育	全体的に意欲的に活動をしているが、技能を習得するために自己の課題を発見し、改善方法を自分なりに考え、表現する力が十分でない生徒が多い。	・毎時間の目標と課題を学習カードに記入しながら、次回の課題を設定させる。学習カードの記述から、個別に教師が助言をする。また、単元によってはペアやグループでの話し合いの時間を設け、仲間からアドバイス等もらうことで、対話的で深い学びを促し、課題解決への思考を深める。	◎学習カードの記述での「思考力・判断力・表現力」の評価において、A評価となる生徒の割合が33%以上になることを目指す。
技術	教科に関する生活体験の少ない生徒が多く、工具や機械の正しい使用方法が理解できていない。	演示やイラスト・動画などを多く取り入れ、正しいやり方をトレースさせたりするなど、丁寧に指導する。そのためタブレット端末などのI C T機器の効果的な活用を進める。	◎主体的に学ぶ内容に重点を置き、ワークシートによる点検で、B評価が60%以上になるようにする。
家庭	生徒は、衣服の取り扱いや住居の間取りについて、自分自身の快適な暮らしの観点から考える機会がほとんどない。	家族生活の空間・個人生活の空間を考慮した、オンライン教材を利用し、理想的な住まいの在り方を考え実践に向ける。自身の服をどの様に扱うか考え、まとめることにより興味・関心を高める。	○主体的に学ぶ内容に重点を置き、平面計画を立てる。B評価が60%以上になることを目指す。

東久留米市立大門中学校 第1学年

教科	児童・生徒の学習状況分析 更に工夫したい点	具体的な授業改善策	評価・検証方法、目標値 評価（◎、○、●）
外国語	「書くこと」に関して、課題がある生徒が多い。 授業の復習などが定着していない生徒が多いの	授業内で英語を書く課題を提示し、家庭学習の支援をする。出題範囲を限定した小テストを数回行う。	○2学期末の授業アンケートで「家庭学習をしている」という回答が80%を超えることを目指す。
道徳 特別の 教科	他の意見を聞いて考えを深めたり、自分事として捉えられたりする生徒を増やす。	他人事にせず、主体的に自分の考えを深められるような授業の展開を工夫する。特に、タイムリーな話題を提供するよう心掛ける。	○友達の見聞き、自分の考えを深めることができたか。（ワークシート、振り返りからの見取り）
時間 総合的な 学習の	校外学習の計画作りを主体的、協力的に行う。将来へのビジョンやイメージを明確にもてる生徒が少ない。	日常生活から協力して行動することの大切さを実感させる。 計画的、系統的なワークシートを準備し活用させる。	○川越校外学習の事前学習において主体的に調べ、個人新聞の形で作成する。また、その内容を発表・掲示する。 ○ドリームマップを含めて計画的に実施して見直しをもつ。